



NO,24-48 2025年3月9日

<テーマ> 違いの中にキリストを告白する群れ

～ 響き合う礼拝とひろば ～

<年間テーマ> 主に望みをおき、出会い結び合わされて

<聖句>

イザヤ書 40:28～31

～主に望みをおく人は新たな力を得、鷲のように翼を張って上る。走っても弱ることなく、歩いても疲れない。

エフェソの信徒への手紙 4:16

キリストにより、体全体は、あらゆる節々が補い合うことによってしっかり組み合わされ、結び合わされて、おのおの部分は分に応じて働いて体を成長させ、自ら愛によって造り上げられてゆくのです。

## 「最後の者にも同じように」

主イエスがたとえて伝えた天の国、神の国のありように今日も聞きます。葡萄園を持つ主人が働く人を求めに夜明けから出ていきます。一日1デナリオン(当時の日給)で約束し葡萄園に送りました。次に9時頃行ってみるとそこに立っている人がいます。ふさわしい賃金を約束して園に送りました。この主人は続けて12時、15時、17時にも行き立っている人を雇いました。17時に雇われた人は1時間ほどの労働でした。支払いが最後に雇われた人から始まりました。1デナリオンずつ支払われ最初の人にも同じようでした。この人たちの「あの人たちと同じ扱いにすると」と訴えに、主人は「わたしは最後の者にもあなたと同じように支払ってやりたいのだ…」と言いました。労働とその対価から言うならむしろ不公平と思える主人のふるまいです。このたとえを聞いた人も同じように感じたでしょう。雇われた人の中で最も思いがけない取り扱いを受けたのは最後の人々でした。声もかけられず雇われない時間を不安と希望のないまま立っていたのでした。主人はそこに来て声をかけ雇い、それどころか最初の人と同じように扱ったのでした。どれほどの恵み、感謝、喜びだったことでしょう。この主人が招き結ぶ1デナリオンの約束は神の恵みという関わりを表しています。最後の者にも最初の者にも、神の思いが同じく注がれている…その神の恵みと愛という福音が私たちを生かすのではないのでしょうか。【井形英絵】

日本バプテスト連盟

### 神戸バプテスト教会

牧師 井形 英絵

主日礼拝

毎日曜日 午前 10:30～11:45

共育のひろば

第1・2日曜日 午前 11:45～12:40(成人クラスA・B・C)

第2・3・4日曜日 午前 11:45～12:40 (小学生クラス)

幼稚園C・S

日曜日 午前 9:00～10:20(3月9・16日)

ひまわりひろば

日曜日 午前 9:00～10:20(3月9・16日)

祈禱会

毎水曜日 午後 19:00～20:15

教会についてのお問い合わせ、バプテスマの希望や他教会からの転入、またご相談のある方は牧師、又は教会事務局までご連絡ください。

〒650-0003 神戸市中央区山本通 1-7-27 TEL078-231-7187 FAX078-221-5252

ホームページ:kobe-church.com 事務局Eメール:jimukyoku@kobe-church.com



# 《 主日礼拝式次第 》

しかい おかもとけいこ そうがく にしえみ  
司会：岡本恵子 奏楽：西恵美

\*印はご起立願いますが、体調の悪い方などはお座りのままご参加ください。

ぜん	そう		そう	がく	しゃ
前	奏		奏	楽	者
かい	かい	しょう	せい	か	たい
開	会	唱	聖	歌	隊
* さん	び	か	しんせい	いち	どう
讃	美	歌	新生19「くすしき主の愛」	一	同
かん	げい	いの		し	しゃ
歓	迎	祈	り	司	会
こう		どく			どう
交		読	イザヤ書53章1-8, 12「苦難の僕」 3面参照	一	同
こ				ふ	く
子ども	メ	ッセージ	マタイによる福音書20章7-8節	福	田
* さん	び	か	しんせい	いち	どう
讃	美	歌	新生134「生命のみことば たえにくすし」	一	同
せい		しょ		し	しゃ
聖		書	マタイによる福音書20章1-16節	司	会
( 新約 新共同訳P, 38 口語訳P, 31 )					
さん	び		せい	か	たい
賛	美		聖	歌	隊
せん	き	しょう	さいご	い	が
宣	教		「最後の者にも同じように」	井	形
おう	とう	いの		いち	どう
応	答	祈	り	一	同
* おう	とう	さん	しんせい	いち	どう
応	答	讃	新生 514「めぐみの主は」	一	同
ささ	げ	もの	ふくな	いち	どう
献	も	の	【福永明・藤河・溝内・藤井由】	一	同
* さん	び	か	いま	いち	どう
讃	美	歌	「今、ささぐる」 下記参照	一	同
しゅ	いの		しんせい	いち	どう
* 主	祈	り	(新生讃美歌開き参照)	一	同
しょう	えい		せい	いち	どう
* 頌	栄		「聖なるかな」 下記参照	一	同
* しゅく	とう		い	が	た
祝	禱		井	形	英
* ア	ー	メ	ン	682-Ⅲ「アーメン」	いち
∞	∞	∞	∞	∞	∞

「今、ささぐる」  
今、ささぐる  
そなえものを  
主よ きよめて  
うけたまえ アーメン

「聖なるかな」  
聖なるかな 聖なるかな  
聖なるかな 主なる神  
むかし いまし  
いま いまし  
とわ(永遠)にいます  
主をたたえん

- ◆本日礼拝後 12:00~共育のひろば、13:00~75周年実行委員会、14:30~幼稚園臨時理事会です。3・11 東日本大震災を覚えて、昼食は豚汁の用意があります。東北連合被災地支援委員会より14年を数える祈りが届いています。掲示板をご覧ください。
- ◆本日礼拝後、教会員の転出についてお諮りします。
- ◆3月16日礼拝後、年度末送別会を行います。昼食代金費500円で自由参加です。
- ◆3月13日(木)13:00~定期総会資料の製本を行います。お手伝いいただける方は事務局までお知らせください。
- ◆3月5日(水)から受難週(レント)に入っています。
- ◆光の丘幼稚園新入園児募集のために引き続きお祈りご協力よろしくお願いします。今年度の卒園式は3月18日(火)です。準備のためにお祈りください。
- オンライン礼拝のためビデオ撮影を行っています。(10:27~終了まで)○第1週は託児があります。○小さいお子様をお連れの方は礼拝堂2階でお子さまと一緒に礼拝をお守りいただくこともできます。

## 祈りの課題

- 1、神戸バプテスト教会 2024 年度福音宣教と諸計画諸活動のために。新年度に向けての振り返りと計画のために。
- 2、光の丘幼稚園園児・保護者・教職員ために。新園児の募集、3学期の保育を覚えて。
- 3、井形英絵牧師の働きと健康が守られますように。
- 4、能登半島豪雨・地震、宮崎地震、山形大雨災害、世界各地で被災された方々、支援にあたっておられる方々のために
- 5、イスラエル、パレスチナ、スーダン、ミャンマー、アフガニスタン、ウクライナとロシアなど紛争と戦争の只中にある方々の命が守られますように。すべての人々のいのちが尊重される自由と平和が実現しますように
- 6、台湾地震、モロッコ、リビアの災害、トルコ・シリア大地震で被災された方々の命と日々の生活が守られますように。
- 7、子どもたちの心と体の成長が守られますように。
- 8、病の中にある方、療養中の方、その方々を支えておられるご家族のために。
- 9、困難の中にいる方々と共に生きるすべてのキリスト教会と信徒の信仰生活の守りのために。
- 10、新会堂建築計画の導き。会堂建築委員会の働きのために。
- 11、これからの神戸教会のために。教会員が共に語り合い、主の御心を求めることができますように。

### 【連盟・連合・他教会の祈り】

- ◆日本バプテスト連盟の全国 314 の教会・伝道所のために。特に連盟の機構改革と新しい体制での働きのために。東日本大震災支援委員会、東北連合被災地支援委員会の働きのために。
- ◆関西地方教会連合の36教会のために。2024年度の連合の働きのために。

## 交読 35 イザヤ書 53 章 1〜8、12 節「苦難の僕」

わたしたちの聞いたことを、誰が信じえようか。

主は御腕の力を誰に示されたことがあるうか。

乾いた地に埋もれた根から生え出た若枝のように、

この人は主の前に育つた。見るべき面影はなく、

輝かしい風格も、好ましい容姿もない。

彼は軽蔑され、人々に見捨てられ、

多くの痛みを負い、病を知っている。

彼はわたしたちに顔を隠し、

わたしたちは彼を軽蔑し、無視していた。

彼が担ったのはわたしたちの病、彼が負ったのはわたしたちの痛みだったのに、

わたしたちは思っていた、神の手にかかり、打たれたから、彼は苦しんでいるのだ、と。

彼が刺し貫かれたのは、わたしたちの背きのためであり、

彼が打ち砕かれたのは、わたしたちの咎のためであった。

彼の受けた懲らしめによって、わたしたちに平和が与えられ、

彼の受けた傷によって、わたしたちはいやされた。

わたしたちは羊の群れ、道を誤り、それぞれの方角に向かって行った。

そのわたしたちの罪をすべて、主は彼に負わせられた。

苦役を課せられて、かがみ込み、彼は口を開かなかつた。

屠り場に引かれる小羊のように、毛を切る者の前に物を言わない羊のように、

彼は口を開かなかつた。

捕らえられ、裁きを受けて、彼は命を取られた。

彼の時代の誰が思い巡らしたであろうか、

わたしの民の背きのゆえに、彼が神の手にかかり、命ある者の地から断たれたことを。

彼が自らをなげきうち、死んで、罪人のひとりに数えられたからだ。

(二) 多くの人の過ちを担い、背いた者のために執り成しをしたのは、この人であった。